NPO 法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 65 号] 平成 29 年 12 月 2 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16□電話　048-931-3844

定例会ゴミ拾い 15 人参加

12 月 2 日(土)、小春日和の中、15 名が参加して浮遊ゴミを回収しました。自転車、消火器、マットレス、**その他 10 袋分**の成果でした。佐藤、木村、古田、中村、田中、

矢部、石田、篠岡、中島の 9 名と、田中(志)田中(按)、相原、二ノ宮、田中、杉尾の 6 名の子どもたちが頑張ってくれました。蒲生船着場に上陸し、ガストで休憩して戻りました。

11 月のゴミ回収量、48 袋分

右写真は、11 月の 1 カ月間で回収した浮遊ゴミの集積の様子です。東信化学工場からの塩化銅 40 t 流出事件が発生し、潮の流れや希釈の様子を見極めながらの難しい活動でした。

・出動日数は **17 日間**

・浮遊ゴミ回収量　**ゴミ袋 48 袋分**

・鍵の**貸出・返却回数 17 回**でした。

釣り人が投棄したゴミも拾いました。河川を大事にしてもらいたいものです。

獨協大学「まちづくりフォーラム」

『エコの環』

12月2日(土)、獨協大学でシンポジュウムが開催され、木村、矢部、石田、中島、相原、杉尾の6名が参加しました。県土整備部の勅使河原将吾氏から「川の再生」、県環境部の新井悠也氏から「河川の水質」、市環推協の菅藤男氏から「ふるさとの自然」についてこれまでの取り組みと現況報告がありました。どれも分かり易い丁寧な説明でした。

質疑応答で、中島氏が草加パドラーズの活動紹介と綾瀬川・伝右川の現状を、相原君と杉尾君がカラス貝の殻を提示しながら塩化銅流出事件の国・県・市の責任と対応について、矢部氏はヘドロと水質について質問と意見を出しました。県水環境課の田中淑子氏から今回の対応と今後の予防について説明がありました。今後もさらに関係機関と連携や協力をしてまいります。

≪新入会員紹介≫ 杉尾蒼樹(すぎおそうじゅ)君が入会しました。

栄町一丁目に住む、草加小学校6年の杉尾君が、ご両親を説得して入会してくれました。まだ、体験参加が3日くらいですが、蒲生船着場までバナナ型を乗りこなしてゴミ拾いをしてくれました。金明町のがまの群生地でカラス貝の殻も拾いました。塩化銅流出事件の被害と思われる証拠品を拾ってくれました。

④綾瀬川へドイツチームをホストタウン招聘活動

≪これからの準備活動≫

①ホストタウン、カヌー練習コースとする綾瀬川を紹介するDVDの自主制作。

②獨協大学の受け入れ窓口となる総務企画課の課長さんと大竹准教授、草加パドラーズの三者で事前打ち合わせ会を開催し一歩前へ進める。

③獨協大学と草加パドラーズの二者で草加市へホストタウン受け入れの可能性や受け入れ態勢、役割分担について協議し可否を決定していく。

④草加市が受け入れ可能なら、日本カヌー連盟と大使館に出向くことを検討する。